**都市の未来を考える際の「（GDPの）成長戦略」の位置づけについて**

上山特別顧問提出資料

　　　　　　　上山　信一

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2024年9月１３日

**１．GDPの成長は今後も重要な目標**

―GDPは地域の活力や豊かさを測る指標として一般的

―世界全体、国・地域単位でGDPは今後も成長（orさせなければならない）・・資本主義の宿命

―特に大阪は“府市合わせ“のインフラ整備の遅れ等の機会ロスの回復というチャンスもある

―副首都ビジョンで2040年に全国GDPシェア10%を掲げた経緯、一人当たりの所得増は継続課

題

➡たかがGDP,されどGDP（GDP　matters）

**２．一方で先進国の都市はもはや「成長」を主たる目標に掲げていないという現実を理解すべき**

―欧州都市は軒並み、QOL（クオリティオブライフ）を志向（eg.アムステルダムのドーナツ経済論）

―米国都市も多くがスマートグロースや持続可能性（Sustainability）に着目（創造都市論）

―わが国指導層が執着する「成長戦略」はアベノミクスや「高度成長の夢をもう一度」のセンス？

➡経済成長至上主義はもはや目標としてアピールしない。人々の関心は個人や環境、持続可能性にシフト

**３．２０２５万博は「持続可能性」「個人のハッピネス（orウェルネス）」を重視し、経済成長を主目的としない・・むしろ脱成長（至上主義）こそが万博レガシーの一つ**

➡「成長はすべての課題を解決する」という従来の発想を捨てよう

**４．識者も入れて検討した府市の「副首都ビジョン」でも人材誘引やQOLの探求こそが豊かな都市づくりの鍵と洞察した経緯がある**

―都市の魅力：QOLの高い都市が魅力高く、人材を誘引し、繫栄する

―持続可能性：環境戦略、サーキュラーエコノミー政策等が新たな課題

➡GDP成長は、今後の都市戦略の成果の一つでしかなく、都市にとって主目標たりえない

**（参考：CHAT GPT　検索の結果）**

**問）世界の主要な大都市はどのようなビジョンを掲げ、何を求めていますか**

**世界の主要な大都市は、それぞれの地域のニーズや課題に応じた将来ビジョンを掲げており、共通して「持続可能な発展」「経済の繁栄」「社会的包摂」を軸にしつつも、独自の目標を設定しています**

**1. ニューヨーク市（米国） - 「OneNYC 2050」**

**持続可能性と公平性を目指した成長を強調。気候変動への対応、経済の包括的発展、住居の拡充、インフラの近代化が重要な要素**

* **気候変動対策: 海面上昇や気候災害のリスク軽減**
* **経済の公平性: 富の偏在を緩和し、全市民にとって繁栄できる都市づくり**
* **インフラ整備: 交通、住宅、通信インフラの近代化**

**2. ロンドン（英国） - 「The London Plan」**

**持続可能な開発と都市の成長を両立させる。**

* **住宅供給: 低所得者層向けの住宅を含む、新しい住宅供給**
* **交通システムの改善: 公共交通網の拡充、低排出ゾーンの設置**
* **気候変動対策: 二酸化炭素の削減とグリーンエネルギーの推進**

**3. パリ（フランス） - 「Paris 2050」**

**エコロジカルな都市への転換を目指す。都市の密集性を活かした持続可能な交通システムや、気候中立の建築を推進**

* **カーボンニュートラル: 温室効果ガスの削減、特に建築物や交通の脱炭素化**
* **都市の緑化: 都市部の再自然化、緑地やパブリックスペースの拡大**
* **スマートシティ: 技術革新を駆使して、都市の効率性と住民の生活質を向上させる**

**4. 上海（中国） - 「上海2035」**

**国際金融・貿易のハブとしての地位を強化。革新技術と持続可能な成長**

* **グローバル都市化: 世界的な経済・技術の中心地としての地位を確立**
* **イノベーション: 人工知能、ビッグデータ、スマートインフラの導入による経済発展**
* **持続可能な都市開発: 環境に優しい交通、エネルギー管理の強化**

**5. ストックホルム（スウェーデン） - 「Vision 2040」**

**2040年までに持続可能でスマートな都市になる。再生可能エネルギーの利用拡大や、効率的な公共交通を通じて、環境に優しい成長を実現**

* **気候中立: 温室効果ガスの排出をゼロにするカーボンニュートラル目標**
* **社会的包摂: 多様なバックグラウンドの人々が快適に暮らせる包摂的社会**
* **スマート都市化: テクノロジーを活用した効率的な公共サービス**

**6. シンガポール - 「Smart Nation」**

**デジタルインフラを強化し、経済、生活の質、ガバナンスを改善する**

* **技術革新: 人工知能やIoTを活用したスマートインフラ**
* **サステナビリティ: 持続可能な都市開発、エネルギー効率の向上**
* **社会福祉: 包摂的な社会福祉政策、ヘルスケアのデジタル化**

**7. 東京（日本） - 「Future Tokyo」**

**環境に配慮した成長と、急速に進む高齢化への対応。**

* **環境保護: 再生可能エネルギーの導入、エネルギー効率の改善**
* **都市インフラ: 地震対策や高齢化に対応した住宅・インフラ整備**
* **経済の多様化: 観光、金融、技術分野**

**これらの都市が掲げるビジョンには、以下の共通要素が見られます。**

1. **持続可能性: 環境に優しい都市づくりとカーボンニュートラルの達成**
2. **経済成長: イノベーションと技術を活用した新しい経済モデルの追求**
3. **社会的包摂: 多様性を尊重し、すべての市民が公平に利益を享受できる社会の構築**

**総じて気候変動、技術革新、そして住民の生活の質向上に取り組んでいます**